

Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

支柱付ブラケット フロント専用
(BJ-183ST/BJ-184DB)

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

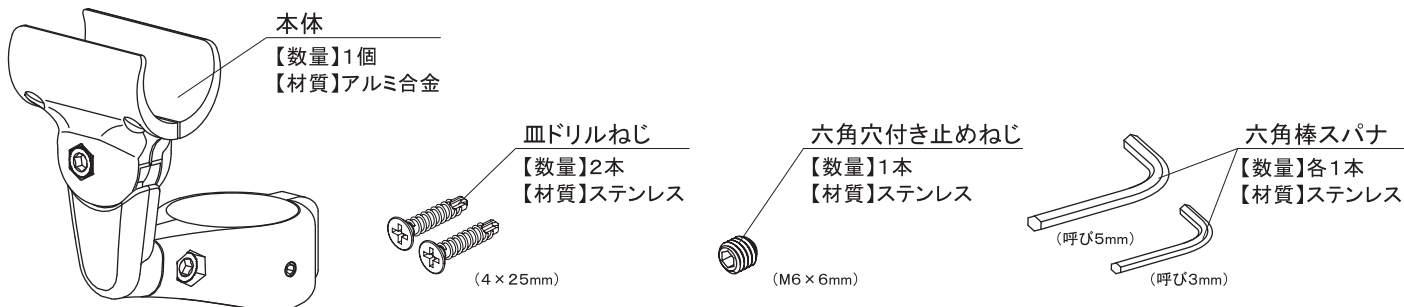
【お客様へ】

本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。

マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

部品明細



安全上のご注意

❗ 埋め込み式またはベースプレート式
フロント支柱に取付けて使用する。

埋め込み式フロント支柱(BJ-179ST・BJ-180DB)
または
ベースプレート式フロント支柱(BJ-181ST・BJ-182DB)

❗ 必ず支柱上端に取付ける。
ブラケットを取付ける高さに
合わせて支柱をカットする。

警告

❗ 2段手すりとして取付ける場合、ブラケット取付け高さピッチは下記寸法を必ず守る。

支柱付ブラケット フロント専用・支柱付ブラケットを使用し、
2段手すりとして取付け可能。
但し、支柱付ブラケット フロント専用は支柱とのすき間に指を
挟む恐れがある為、上段にのみ取付け可能。
取付ける際は、ブラケットの取付け高さピッチを120mm以上
にする。

※利用者が上下の手すり間に頭を入れてしまうなどの恐れがある
場合は、首挟み防止の観点からブラケットの取付け高さピッチ
※1・※2の寸法を推奨します。

上段 支柱付ブラケット
フロント専用
下段 支柱付ブラケット
※1 120mm以上140mm以下
または、258mm以上

上段 支柱付ブラケット
下段 支柱付ブラケット
※2 120mm以上140mm以下
または、269mm以上

上段 支柱付ブラケット
フロント専用
下段 支柱付ブラケット
フロント専用

❗ ブラケット(支柱)ピッチは下記寸法を必ず守る。

曲がる手すり棒の場合

- ブラケット(支柱)3個以上使い …800mm以内
- ブラケット(支柱)2個使い(1スパン) …700mm以内

直棒手すりの場合

- 1200mm以内

800mm以内
(直棒1200mm以内)

700mm以内
(直棒1200mm以内)

注意

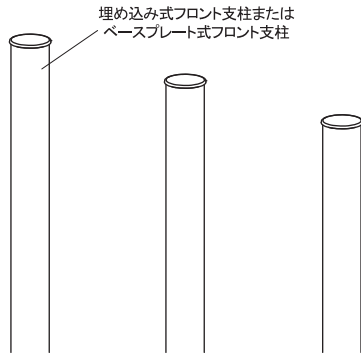
🚫 取付け以外で製品を分解・改造しない。
使用時に脱落するなど予期せぬ故障の
原因になる。また、重大事故につながる
場合がある。



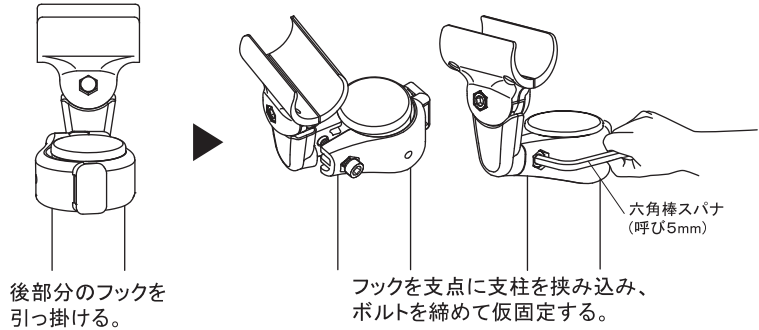
❗ 手すり棒を仮止めする際は、必ず2個以上の
ブラケットへ手すり棒をのせて作業を行う。
ねじや支柱(ブラケット)が破損する原因になる。

施工手順 取付方法

① 支柱付ブラケット フロント専用を取付けるフロント支柱を先に設置する。

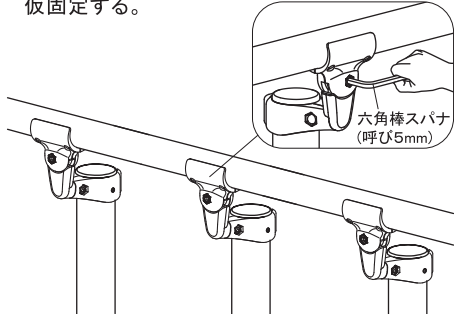


② 各支柱に支柱付ブラケット フロント専用を挟み込むように組付け、六角棒スパナで仮固定する。



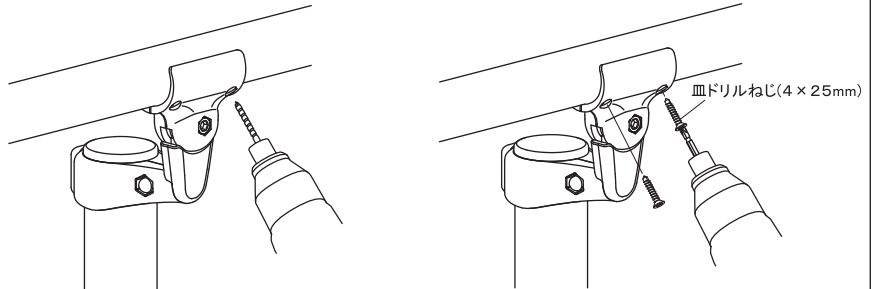
❗ 梱包組立品から一度、六角穴付きボルトを緩め、ボディを2つに分ける際、強く引き離さない。ブラケットが破損する恐れがある。

③ 手すり棒を支柱付ブラケット フロント支柱に組付け仮固定する。



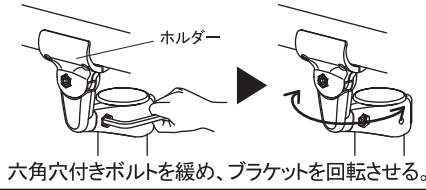
④ 手すり棒にφ3.3mmの下穴をあける。

⑤ 皿ドリルねじ(4×25mm)で固定する。



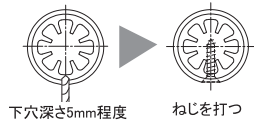
手すり棒とブラケットの位置合せ

❗ ブラケットを回転させることで手すり棒がホルダーに納まるように微調整できます。

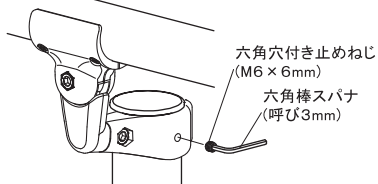


直棒手すりとの固定の場合

ねじ止めの方法は手すり棒と同様。内側リブとの干渉を防ぐため、下穴(φ3.3mm)の切削は深さ5mm程度で止め、手すり棒固定用ねじを打つと施工しやすくなる。

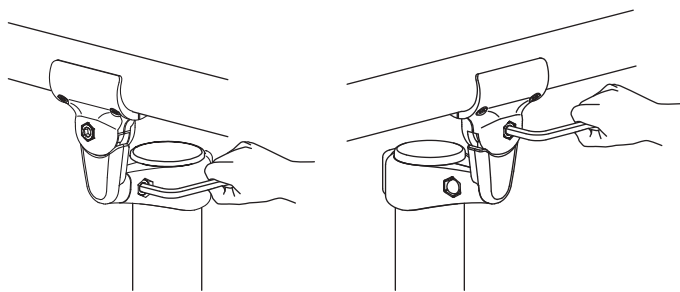


⑥ 六角棒スパナで六角穴付き止めねじを締付ける。



❗ 六角穴付き止めねじは、しっかりとトルク2.9N・m以上で締付ける。締め忘れると支柱からズレ、ブラケットが破損する恐れがある。

⑦ 六角棒スパナで六角穴付きボルトを本締めして完了。



製品図面

